



道祖土小  
**学校だより**

〒336-0907  
さいたま市緑区道祖土1-1-1  
電話 048-885-2512  
FAX 048-811-1328

校訓 **明るく 仲よく たくましく**  
Web <http://saido-e.saitama-city.ed.jp>  
12月号 平成29年11月30日発行 E-Mail [saido-e@saitama-city.ed.jp](mailto:saido-e@saitama-city.ed.jp)



### 個性や才能の伸ばし方

校長 増田 藤雄

先日、藤光謙司選手を囲む会に参加しました。8月の世界陸上大会400mリレー日本チームのアンカーです。オリンピックより権威があるとも言われる同競技会で銅メダルを獲得し、日本陸上界の歴史を築いたメンバーと言っても過言ではないと思います。スーツ姿でしたが、会場内では異彩を放っていました。人一倍背が高く、足が長く、顔が小さい。集まった私たちと比べると、見るからにスプリンターです。藤光選手の子どもの時代が気に入り、中学校の先生に聞いてみました。やはり、三室中学校時代から目立って足が速く全国大会にも出場していたそうです。天賦の才能があったのは間違いないようです。しかし、藤光選手のすごいところは、31歳になる今日まで陸上競技を続け、若き天才ランナー達がいる中でアンカーに選ばれメダリストに名を連ねたことだと思います。ご本人も「やめないで良かった。」と、おっしゃっていました。

藤光選手の活躍に私たちは勇気をもらいましたが、最近、陸上界のみならず「若き天才」達の活躍が目に残ります。将棋、卓球、サッカー、水泳等々、中高生の活躍に胸躍りワクワクすることがあります。その「若き天才」達は、伸び伸びしていて、コメントも明るく爽やかです。私が子どもの頃、毎週見ていた天才野球少年、星飛雄馬（「巨人の星」主人公）とは全く違います。「思い込んだら試練の道を」「血の汗流せ、涙をふくな」などという悲愴感は微塵も感じません。人一倍努力することを最近の「若き天才」達は楽しんでるようにさえ感じます。一体、こんな天才はどうしたら育つのか、教育者としてはものすごく興味湧くところですよ。

そんなことを感じているとき、衝撃的な言葉に出会いました。『「天才」は学校では育たない』私にとって聞き捨てならない言葉です。汐見稔幸（教育学者）氏が書かれた本のタイトルです。氏が言うには、「天才」が育つには、(1)天賦の才（可能性）を有していること、(2)それを見抜き、上手に伸ばす働きかけ、(3)本人の努力、が必要だそうです。しかし、日本の教育は(1)(2)はあまりしてこないで、(3)の「本人の努力」だけを強いてこなかったかと言っているのです。なるほど、耳が痛い話です。「頑張れ！」「もっとできる！」よく使います。さらに氏は言っています。「日本の教育は平均的に伸ばすことは得意だが、秀でた才能ある子をさらに伸ばしていくことは苦手。平均を伸ばすだけでなく、それぞれの個性や特性、それに育つ環境に合わせて、柔軟で多様な学びや教育があるべき」と。反論の仕様もないくらい正論だと思います。全国学習状況調査は平均で〇〇県が1位とか、体力テストで「さいたま市の平均は・・・」などと、いつも平均で比較し評価してしまいます。平均ではなく一人ひとりに目を向け、一人ひとりを伸ばすためにどうするかを考えなければならないはずですよ。そのために、私たち教師は具体的にどんな取組をしたらよいのか。難しい宿題をいただいた気持ちです。

悶々としている中、さらに1冊の本に出遭いました。『「どうせ無理」と思っている君へ』植松努著です。植松氏は、人の可能性を奪う言葉である「どうせ無理」を無くし、夢を諦めないことの大切さを子どもたちに伝えていました。子ども向けの本でしたが「これだ！」と共感しました。学校では、天才は育てられないかもしれないけれど、夢を持つ子を育てなければならないと思いました。「夢をもち諦めずに挑戦すれば、失敗や成功を経験し、それが能力や自信になる。」植松氏は、このことを伝えたかったのだと思います。植松氏とは、中小企業の社長でありながらロケットを宇宙まで飛ばす会社を創り上げた方です。学校は、個性や才能を伸ばす場ではなければなりません。そのためには、子どもたちの夢を奪うことだけはしてはいけません。

保護者の皆様、地域の皆様、子どもたちは夢をもっています。その夢を育むのも潰すのも、私たち次第です。子どもたちの個性や才能を伸ばすため、これからは私たちが協力し、一緒に子どもたちを励まし、夢を持たせていきましょう。少なくとも子どもたちが真剣に考えていることには、「無理だよ」とか「できるわけがないよ」などという言葉は使わないように気を付けていきましょうね。

## 12月行事予定・完全下校時刻

(A→15:10 B→16:00 完全下校時刻15分前より下校開始)  
☆「SC」:スクールカウンセラー 「SSW」:スクールソーシャルワーカー

日	曜	行事	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	金	○通常5 ○じゅくり(算) ○個人面談⑥	A	A	A	A	A	A
2	土							
3	日							
4	月	○朝会(講話・生活) ○児童代表委員会14:50	A	A	A	A	A	A
5	火	○読書 ○6年校内サッカー大会 1~3校時	A	A	B	B	B	B
6	水	○じゅくり(国) ○クラブ ○校内サッカー大会予備日	14:55	14:55	14:55	B	B	B
7	木	○午前中繰上 ○木曜日課 ○ニコニコさいど ○弁当持参 ○SC勤務日	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40	15:40
8	金	○繰上5(1~3年)繰上6(4~6年) ○体育研究授業 3年 ○教育相談日		14:25		15:05	15:05	15:05
9	土	○土曜チャレンジスクール ○釜管演奏発表会						
10	日							
11	月	○読書 ○お話し会 1年 ○租税教室 6年 10:55	A	A	A	A	A	A
12	火	○PTA資源回収 ○朝会(体育)	A	A	B	B	B	B
13	水	○じゅくり(国) ○クラブ	14:55	14:55	14:55	B	B	B
14	木	○木曜日課 ○朝会(表彰)	14:50	15:40	15:40	15:40	15:40	15:40
15	金	○教育相談日 ○じゅくり(算)	A	A	A	B	B	B
16	土							
17	日							
18	月	○読書 ○放課後チャレンジスクール	A	A	A	A	A	A
19	火	○朝会(音楽)	A	A	B	B	B	B
20	水	○給食終了日 ○通常4 ○じゅくり(国) ○さわやか相談員勤務日				14:10		
21	木	○繰上3 ○SC勤務日 ○SSW勤務日				11:50		
22	金	○2学期終業式 ○繰上3 ○ノーゲーム・ノーテレビデー				11:50		
23	土	○天皇誕生日						
24	日							
25	月	○冬季休業日						
26	火	○冬季休業日						
27	水	○冬季休業日						
28	木	○冬季休業日						
29	金	○冬季休業日						
30	土	○冬季休業日						
31	日	○冬季休業日						